NIE実践報告

1．タイトル：☆自分の意見を伝えるスピーチをしよう

2．学校名

宮城県本吉町立大谷小学校

3．実践者名（代表者名）

前田直子

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　36人

6．単元（本時の学習課題）名

「自分の意見を伝えるスピーチをしよう」

7．目標(狙い)

・自分の考えや意図が伝わるように、事実と感想・意見との区別や、資料の提示の仕方を工夫して話す。
・話し手の意図を考えながら聞く。

8．評価の視点

自分の考えや意図が伝わるように工夫して話そうとしたり、話し手の意図を考えながら聞いたりすることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「自分の意見を伝えるスピーチをしよう『伝え合おう　わたしの意見』」　7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材文「伝え合おうわたしの意見」を読んで、新聞記事を使った話題の集め方を知る。（1時間）
②集めた新聞記事からスピーチで伝えたい話題を1つ選び、スピーチメモを作る。（1時間）
③スピーチに必要な資料を用意したり、スピーチメモをもとに発表の練習をしたりする。（2時間）
④スピーチ発表会を開いて、互いのスピーチを聞き合う。（2時間）
（留意点）
・新聞記事を選ぶ際には、今までに休日の家庭学習として継続してきた新聞記事集めとコメントを書いたものや、職員が選んでスクラップしてきた記事も活用させ、学校でも記事集めの時間を確保する。
・選んだ新聞記事を使い実際にスピーチをするときの順序を考え、事実と意見・感想を区別したメモを書く。
・小グループ内で互いのスピーチを聞き合って相互評価する。練習を通して気が付いた点や直した方がよい点をスピーチメモに書き込むよう助言をする。
・グループの代表者を1名選び、学級全体の前でスピーチを行う。「聞き取りカード」を準備し、話し手、

11．児童・生徒の反応、感想・意見

6人ずつの6グループで発表したのち、各グループの代表者がスピーチをした。そのうち5つが環境にかかわる内容であった。全体の発表会では代表者のスピーチに対して、ほとんどの児童が積極的に意見や考えを発表することができた。

12．成果と課題

・練習を重ねたことにより、原稿ではなくメモを見ながらスピーチをすることができた。機転をきかせて話したり、フリップの高さを自己修正したり、聞き手を意識した話し方ができていた。
・友達が選んだ記事から、他の友達への広がりが見られ、NIEのねらい達成のためにとても良い実践となった。発表者と聞いている児童との感想の交換があっても良かった。
・発表者が記事の事実を言っているのか、感想を言っているのか区別がつかないものもあった。新聞名の紹介もあると、より興味が高まったと思う。